

平成19年度決算報告

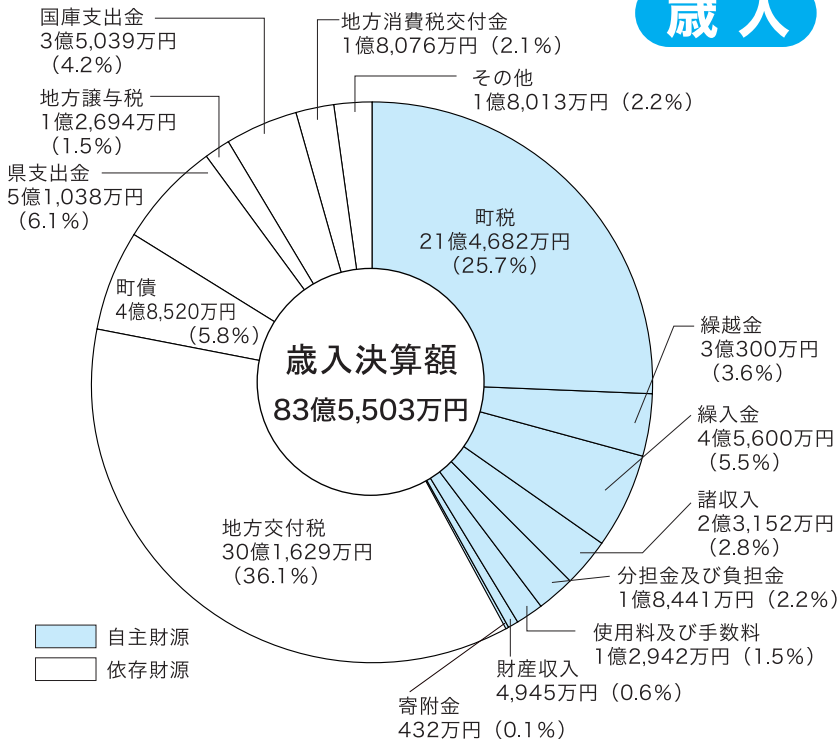
一般会計・特別会計が認定される

平成19年度那珂川町の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算が、9月9日から9月18日まで行われた第6回那珂川町議会定例会で認定されました。

一般会計の決算額は、歳入が83億5、502万7、51

1円で前年度に比べ0.4%の増、歳出が77億1、905万2、091円で前年度比0.4%の減となり、差引額は6億3、597万5、420円。このうち繰越明許費繰越額972万8千円、事故繰越し繰越額156万492円を

歳入



差し引いた実質収支額は、6億2、468万6、928円となりました。

町では平成18年度から行財政改革に取り組んでいます。引き続き人件費の削減等積極的に行財政改革を進め、限られた財源の有効的、効率的な活用に努めていきます。

また、7つの特別会計の合計額は歳入が69億7、467万597円で、前年度に比べ、14.1%の増、歳出は67億82万5、255円で前年度比16.2%の増となりました。水道事業会計の資本的支出額の不足額1億595万1、692円は、留保資金等で補てんしました。

一般会計の概要

歳入の主なものは、地方交付税、町税、県支出金及び臨時財政対策債や過疎対策事業債等の地方債です。

また、依存財源と自主財源の構成比は、それぞれ58.0%、42.0%となりました。

歳出で第1に多いのは民生費で、各種の福祉事業や子育て支援事業費です。次に教育費、3番目に総務費で、ケーブルテレビ事業特別会計繰出金が主なものです。

特別会計・公営企業会計

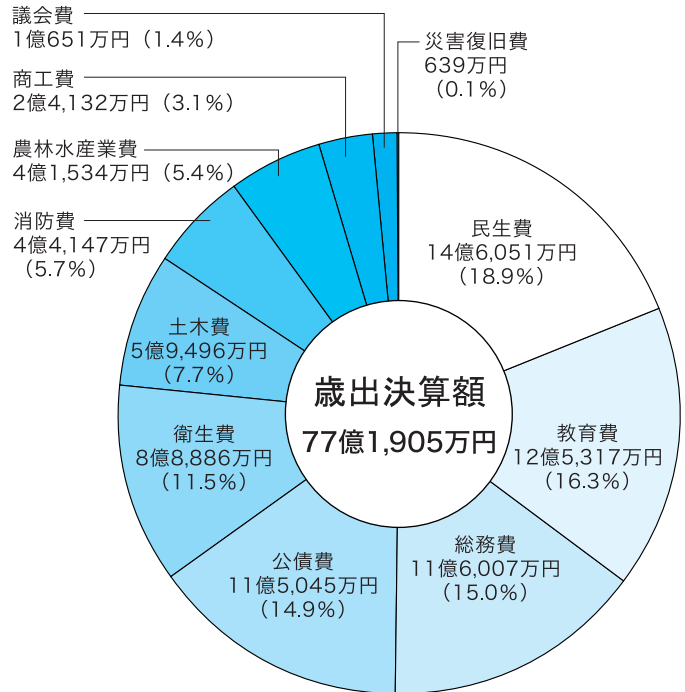
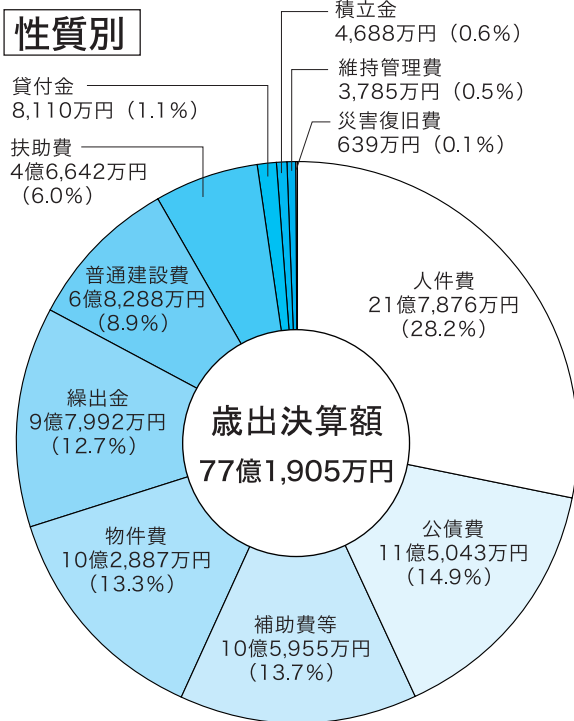
会計名	決 算 額			
	歳 入	歳 出	差 引	
国民健康保険	21億1,440万円	19億8,779万円	1億2,661万円	
老人保健	19億1,676万円	18億7,891万円	3,785万円	
介護保険	11億111万円	10億4,159万円	5,952万円	
下水道事業	3億5,732万円	3億5,085万円	647万円	
農業集落排水事業	5,135万円	4,990万円	145万円	
簡易水道事業	2億1,727万円	2億448万円	1,279万円	
ケーブルテレビ事業	12億1,647万円	11億9,530万円	2,117万円	
合 計	69億7,468万円	67億882万円	2億6,586万円	
水道事業	収益的収支	2億6,276万円	2億4,010万円	2,266万円
	資本的収支	5,670万円	1億6,265万円	1億595万円

決算額については、万円未満の端数を四捨五入しています。



歳出

目的別



平成19年度一般会計の主な事業

総務費

- ・ 参議院議員通常選挙費 1,157万円
- ・ ケーブルテレビ事業特別会計繰出金 1億6,835万円
- ・ まちづくり諸費（AED購入費等） 804万円
- ・ 移動通信用鉄塔施設整備事業費 2,358万円

民生費

- ・ 障害者福祉サービス事業費 1億2,728万円
- ・ 児童手当支給事業費 1億2,660万円
- ・ 放課後児童クラブ運営事業費 833万円
- ・ こども医療費 2,208万円
- ・ 原油高騰対策ぬくもり灯油券支給事業費 195万円

衛生費

- ・ 予防接種事業費 2,000万円
- ・ 老人保健事業費 6,133万円
- ・ 合併処理浄化槽設置補助金 2,047万円
- ・ ごみ収集対策事業費 2億698万円
- ・ し尿処理対策事業費 7,915万円

農林水産業費

- ・ 中山間地域等直接支払交付事業費 2,696万円
- ・ 県単農業農村整備事業費 1,080万円
- ・ 南部地区中山間地域総合整備事業費 7,185万円
- ・ 森林整備地域活動支援交付事業費 886万円

土木費

- ・ 道路等維持補修費 2,559万円
- ・ 道路改良工事費 1億7,163万円
- ・ 都市計画費 3,633万円
- ・ 公園管理費 571万円

消防費

- ・ 消防管理運営費 4億1,963万円
- ・ 消防施設整備事業費 2,136万円

教育費

- ・ 学校給食センター改修工事費 8,572万円
- ・ 山村開発センター管理費 2,681万円
- ・ 小学校統廃合準備費 1,777万円
- ・ 中学校統廃合準備費 451万円